

消化器センター

Gastroenterological Center

消化器外科

消化器内科



消化器センター

消化器外科医 5 名、消化器内科 3 名が連携を図り、さまざまな消化器疾患(消化管・肝臓・胆嚢・膵臓疾患)に対し、診療・手術・治療まで一貫して行える体制を整えています。

「患者さんの負担は最小に、治療効果は最大に」

を目標に掲げ、患者さんにとって最善の治療法を選択し、早期社会復帰に向け、サポートします。

ドクター紹介 Doctor's Profile

消化器外科



荒巻 政憲
Aramaki Masanori
院長代行
消化器センター長



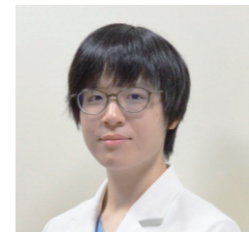
佐藤 博
Satoh Hiroshi
副院長
主任外科部長



藤井 及三
Fuji Kyuzo
消化器外科部長

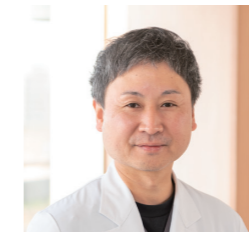


蔀 由貴
Shitomi Yuki
消化器外科部長



長澤 由依子
Nagasawa Yuiko
消化器外科医員

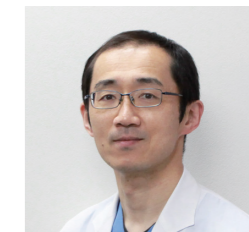
消化器内科



首藤 充孝
Shuto Mitsutaka
消化器内科部長



和氣 良仁
Wake Ryoujin
消化器内科医長



衛藤 孝之
Eto Takayuki
消化器内科医長

消化器外科 Gastroenterological Surgery

外科では、消化器・一般外科として、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、胆管がん、胆嚢結石症、急性虫垂炎等の消化器疾患の手術や鼠径・大腿ヘルニア手術等を行っています。1991年に腹腔鏡下胆嚢摘出術を導入して以来、腹腔鏡下手術に力を入れ、現在では胃がん、大腸がん、癒着性イレウス、急性虫垂炎、鼠径・大腿ヘルニア等においても積極的に行っており、全手術の約2/3を占めています。近年、整容性に優れた低侵襲手術である単孔式腹腔鏡下手術を胆嚢結石症や虫垂炎に対し行っております。

対象疾患 胃・大腸・肝臓・膵臓・胆管などの消化管、胆嚢結石症、急性虫垂炎などの消化器疾患

消化器内科 Gastroenterological Medicine

内科では、2018年4月より現行体制になり早期消化管がんに対する高度内視鏡治療が可能となりました。早期胃がんに加えて、食道がん、大腸がん、さらには十二指腸がんに対しても内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)などで治療を行えるようになりました。切除が難しいとされる剥離困難例(癒着部腫瘍など)にも対応しています。また、胆道系疾患に対する内視鏡治療も最新デバイスを使用し高度な技術を持って対応できる環境が整い、さらには超音波ガイド下での診断や治療も行っております。栄養管理法としては経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)を行っています。必要があれば高齢者腸閉塞などの治療としての経皮内視鏡的盲腸瘻造設術(PEC)も行っています。

対象疾患 急性腹症、全消化管内視鏡治療(内視鏡的止血術、内視鏡的粘膜切除術(EMR)、ポリペクトミー、ESDなど)、膵胆道系疾患に対するERCP関連内視鏡治療[(超音波内視鏡(EUS)使用下を含む)(乳頭切開術、胆管ドレナージ、胆のうドレナージ術、膵周囲膿瘍ドレナージ術など)]

消化器外科・消化器内科共同手術 LECS Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery 腹腔鏡・内視鏡合同手術



LECSは、胃の粘膜下腫瘍(2~5cmの大きさ)などをピンポイントで切除できる画期的な手術法で、患者さんにかかる負担が少ない(低侵襲)という特徴があります。消化器内科医が内視鏡カメラで胃の中から腫瘍の位置を確認し、胃の中に切開する切除線(マーキング)を決めます。全周切開後、腹腔内に意図

的に穴をあけ、切開の準備をします。その後、消化器外科医がお腹に小さな穴を3~4つ開け、腹部から手術器具を用いて切除線に沿って腫瘍を切除していきます。胃の中(内視鏡)と外(腹腔鏡)の両方から確認できるため、最小の切除範囲が確定でき、術後の胃の変形を最小限に抑えられ、胃の機能の温存も可能です。



2022年度実績

消化器外科

悪性疾患	腹腔鏡	開腹	良性疾患	腹腔鏡	開腹	
膵頭部腫瘍切除術		3	肝嚢胞切開術	1		
膵体尾部腫瘍切除術		2	胆嚢摘出術	160	8	
肝切除術		7	胆管切開結石摘出術	1	2	
胆嚢悪性腫瘍手術		1	ヘルニア手術	54	23	
胆管悪性腫瘍手術		1	虫垂切除術	27	1	
肝門部胆管悪性腫瘍手術		1	小腸切除術	2	7	
脾摘出術		1	急性汎発性腹膜炎手術	1	3	
胃全摘出術	4	1	結腸切除術	3	2	
胃切除術	10	5	腸吻合術		4	
腹腔鏡下胃局所切除術(LECS)	1		その他			68
結腸悪性腫瘍切除術	12	7				
直腸切除・切断術	14	1				
小計	41	30	小計	249	50	68
合計						438

消化器外科は、1991年5月に大分県では初の腹腔鏡下手術を導入し、現在では様々な手術を行っています。胆嚢摘出術、胃がん、大腸がんなどの疾患については、整容生に優れた低侵襲手術の単孔式腹腔鏡下手術を取り入れ、より入院期間も短い低侵襲な治療を提供しています。

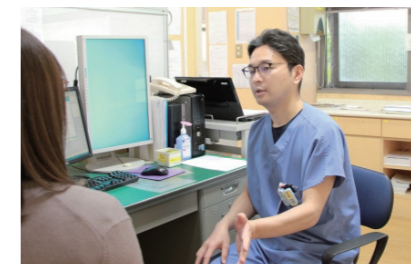


消化器内科

胃内視鏡検査(GF)	1,503	腹腔鏡・内視鏡合同術(LECS)	1
大腸内視鏡検査(CF)	907	内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	
内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP)	133	食道	7
経皮内視鏡的胃瘻造設術		胃	22
経皮内視鏡的盲腸瘻造設術(PEG/PEC)	72	十二指腸	1
気管支鏡検査(BF)	21	大腸	40
超音波内視鏡膵臓・胆管検査(EUS)	13	内視鏡的粘膜切除術(EMR)	135
EUS-ドレナージ		小計	206
小計	2,649	合計	2,855

高度技術を用いた内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を導入しています。胃腫瘍のみではなく、早期消化管腫瘍(食道、十二指腸、大腸)に対してもESDを施行することが可能です。巨大病変や剥離困難例に対しても適応を判断し治療を行っています。

新病院での内視鏡治療センター開設に向けスタッフ同レベルアップを図っています。



ご予約・お問い合わせ

お電話での完全予約制です

大分岡病院 地域・患者総合医療センター

TEL **097-503-5033**

■ 予約受付時間

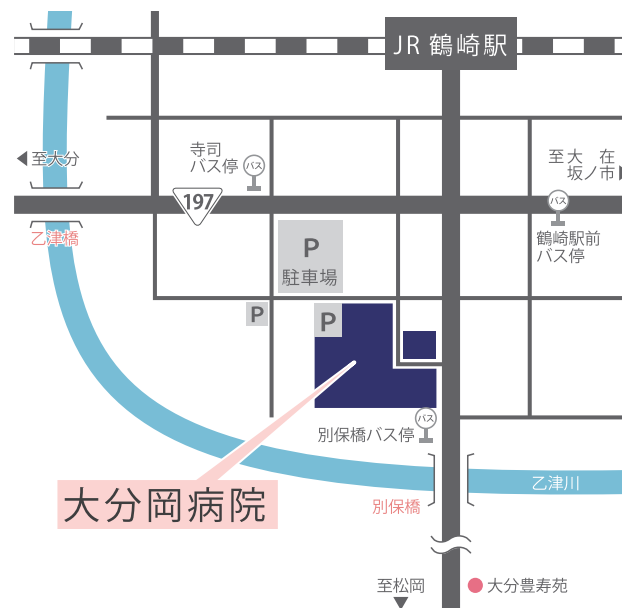
8時～17時(月～金)

8時～12時(土)



消化器センター
ホームページ

アクセスマップ



《交通アクセス》

- ・JR 鶴崎駅より徒歩5分
- ・国道197号線最寄バス停「鶴崎駅前」または「寺司」より徒歩5分



社会医療法人

敬和会 大分岡病院

〒870-0192 大分市西鶴崎3-7-11

電話番号：097-522-3131(代)

FAX番号：097-503-6606

ホームページ：<https://keiwakai.oita.jp/oka-hp/>

2023.04